

令和 3 年 度

環境・生態系維持・保全活動等調査事業

海浜等清掃活動実施状況調査

報 告 書

(海の羽根基金事業)

令和 4 年 3 月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

まえがき

この報告書は、令和3年における海浜等清掃活動実施状況(1~12月)のとりまとめを47都道府県にお願いし、36都道府県から回答を頂き、その結果を集計したものです。

令和3年も新型コロナの影響は依然として続いていましたが、それでも、令和2年と比較して清掃活動の回数は1万回から1.1万回、参加者は32万人から42万人へと増えています。引き続き活動を自粛している団体・グループもある中、徐々にではありますが、活動を再開又は拡大しているところも出てきていることがこの数字から伺えます。

ゆっくり少しずつでもよいので、以前のように誰でも清掃活動に取り組める日常が戻ってくることを期待しています。

海岸に漂着するごみの7割は、河川を通じて人が住む陸域から流れて来たものと言われています。清掃活動は、海洋ごみ問題への関心を高めるだけでなく、我々の生活様式の変化もとらえることができる活動です。

令和3年の調査では、新型コロナの影響なのか、マスクのごみが多いという報告が上がっています。これまでなかった情報で、海岸等に流れ着いたごみは、その時々々の社会情勢、人々の日々の営みを正確に反映しているのだと感心させられます。

本報告書が、全国の海、河川、湖沼を清掃している方々の活動にお役立て頂けますと幸いです。また併せて、ご興味のある方は、当機構のHPに掲載している「漁業系プラごみの大半は外国由来ー日本の漁業者主犯説は誤解ー」を御一読いただきたく存じます

令和4年3月

公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構

# 目 次

1 調査結果の概要 .....	1
2 調査方法 .....	2
2-1 調査の手順 .....	2
2-2 海浜等清掃活動実施状況調査票の配布先と回収状況 .....	3
3 調査結果 .....	15
3-1 活動の規模 .....	15
3-2 ごみの回収状況 .....	21

## 1 調査結果の概要

海浜等清掃活動実施状況調査は、各都道府県に調査票を配布し、その回答を集計する方法で行った。全国 47 都道府県を対象として調査票を配布し、うち 36 都道府県から回答があった。

### ■活動回数及び活動場所

令和 3 年には、全国で延べ 11,588 回の清掃活動が行われ、延べ 43 万人が参加した。  
(コロナ禍直前の令和元年は 14,920 回 92 万人、コロナ過中の令和 2 年では 10,982 回 32 万人)

清掃活動時期としては、6 月、7 月、8 月が多く、この 3 ヶ月で全体の約 39.7%にあたる延べ 4,600 回の活動が行われていた。

参加人数を活動場所別にみると、海岸と河岸での活動が多く、海岸の清掃に参加した人数は延べ 35 万人、河岸の清掃に参加した人数が延べ 7 万人であり、この 2 つをあわせると全体の参加人数の約 99%を占めていた。

延べ清掃距離を延べ参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸が約 33.6 m、河岸が約 31.5 m、湖岸が約 62.2 m であった。

### ■主催者及び参加者

清掃活動の主催者、参加者ともに「地域関係」の割合が高く、主催者の 36.7%を、そして参加者の 29.5%を占めていた。また、「行政」は主催者の 18.3%、「企業関係」は参加者の 17.2%を占め、いずれも「地域関係」に次いで大きな役割を果たしていた。

参加者の内訳は、成人男子が 62.0%、成人女子が 18.2%、大学生が 0.7%、中・高校生が 10.9%、小学生以下が 8.2%であった。

### ■ごみ回収量

ごみの回収量は、全体で約 4 万 4 千  $m^3$ (重量換算で 8,800 トン)であった。なお、ここでの回収量は、ごみの種類を把握しているものと、総量のみ把握しているものとの合計値である。

清掃の場所別では海岸が約 4 万 1 千  $m^3$  (93%) で最も多く、次いで河岸が約 2.6 千  $m^3$  (6%) となっており、この 2 つを合わせると全体の約 99%を占めていた。

参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域が最も多く 0.46  $m^3$ 、次いで海岸が 0.19  $m^3$ 、河岸および湖域が 0.05  $m^3$  となっており、最も少なかった湖岸は 0.03  $m^3$  であった。

汀線 1 km あたりのごみ回収量は、河岸が約 3.81  $m^3/km$  で最も多かった。

## 2 調査方法

### 2-1 調査の手順

本調査は、基本的に図 1 に示す手順で実施した。

清掃活動で回収したごみの量表記（単位）は、清掃の主催者が簡便に定量的に記入できるように体積（ $m^3$ ）表記とした。

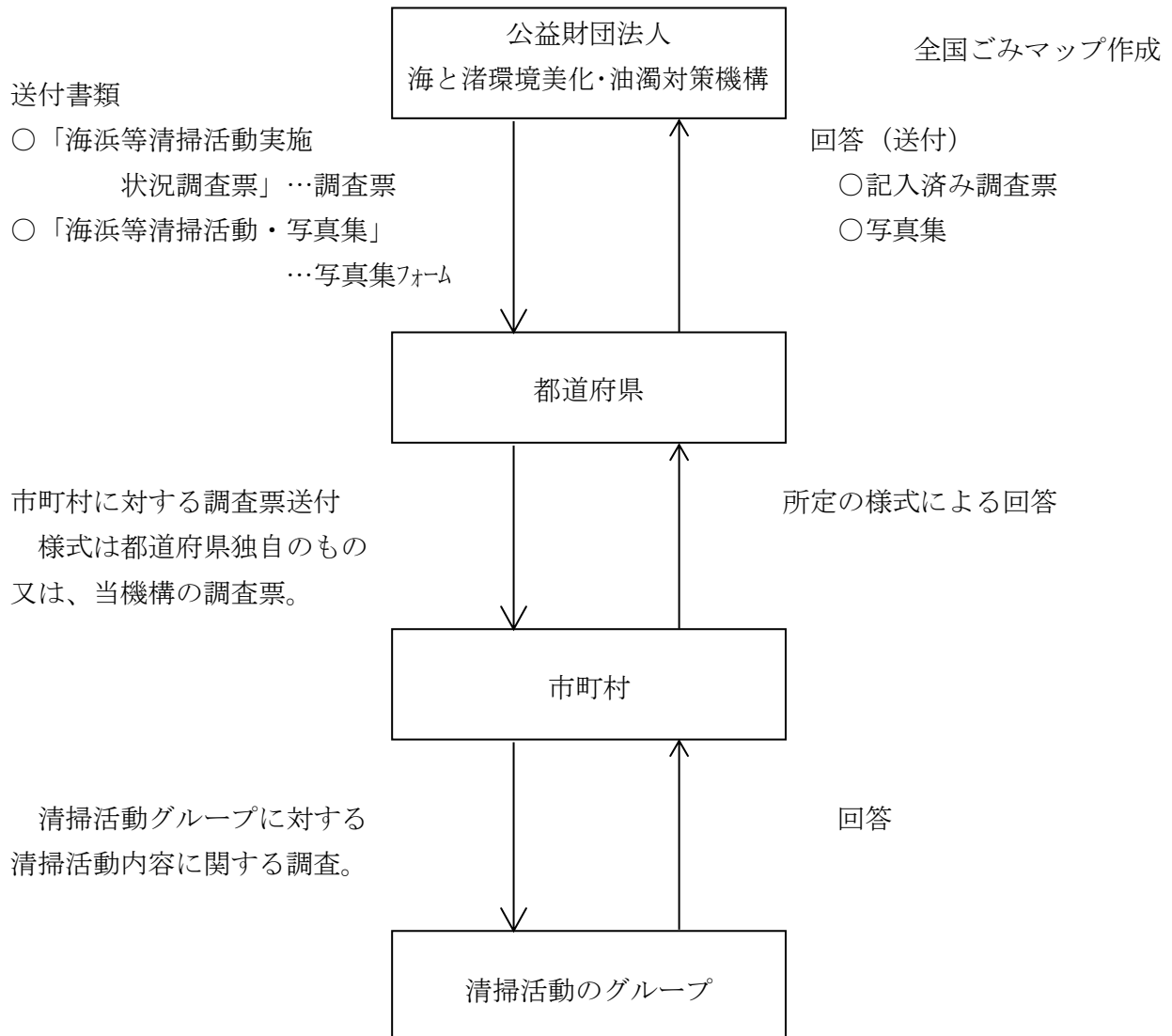


図 1 全国ごみマップ作成手順

## 2-2 本調査票の配布先と回収状況

本調査票は、全都道府県に配布し、47 都道府県中、表 1 に示す 36 都道府県から回答を得た。

表 1 調査票の回収状況

整理番号	都道府県名	回収	整理番号	都道府県名	回収
1	北海道	○	25	島根県	○
2	青森県	○	26	岡山県	○
3	岩手県	○	27	広島県	○
4	宮城県	○	28	山口県	○
5	秋田県	○	29	徳島県	○
6	山形県	○	30	香川県	○
7	福島県		31	愛媛県	○
8	茨城県	○	32	高知県	
9	千葉県	○	33	福岡県	○
10	東京都	○	34	佐賀県	○
11	神奈川県	○	35	長崎県	○
12	新潟県	○	36	熊本県	○
13	富山県	○	37	大分県	○
14	石川県	○	38	宮崎県	○
15	福井県	○	39	鹿児島県	○
16	静岡県	○	40	沖縄県	○
17	愛知県	○	41	栃木県	
18	三重県	○	42	群馬県	
19	滋賀県		43	埼玉県	
20	京都府		44	山梨県	
21	大阪府	○	45	長野県	
22	兵庫県		46	岐阜県	○
23	和歌山県	○	47	奈良県	
24	鳥取県	○	回収数		36

注：網掛け部分は回答が得られなかった自治体である。

調査票 (1)

海浜等清掃活動実施状況調査票の記入について  
(個別調査票の場合)

本調査票の作成にあたっては、以下の要領にしたがって作成願います。

- 1) 清掃活動が数日に亘る場合には連続する清掃活動は1回として記入して下さい。
- 2) 把握している範囲の内容について記入して下さい。
- 3) 体積(m<sup>3</sup>)換算

ごみ問題の検討のためには体積(m<sup>3</sup>)で把握するほうが判断しやすく、また清掃実施者が簡便に定量的に記入できることから、本調査では体積で集計することとしました。体積(m<sup>3</sup>)換算するための、目安となる表を参考として次に示しますので、見た目での概数で結構ですから体積表示でご記入して下さい。なお、この表は水域環境改善全国協議会事業の調査で使用して来たものです。不明な場合は 200kg=1m<sup>3</sup>として計算して下さい。

体積(m<sup>3</sup>)換算の目安

項 目	数 量	体 積 の 目 安	備 考
マルブルー 21 ごみ袋(自然物ごみ用)	約33袋	約 1 m <sup>3</sup>	0.03m <sup>3</sup> /1袋×33袋=0.99m <sup>3</sup>
マルブルー 21 ごみ袋(人工物ごみ用)	約66袋	約 1 m <sup>3</sup>	0.015m <sup>3</sup> /1袋×66袋=0.99m <sup>3</sup>
ごみ袋大(65cm×80cm)	約20袋	約 1 m <sup>3</sup>	0.045m <sup>3</sup> /1袋×20袋=0.9m <sup>3</sup>
ごみ袋特大(80cm×90cm)	約14袋	約 1 m <sup>3</sup>	0.07m <sup>3</sup> /1袋×14袋=0.98m <sup>3</sup>
ドラム缶：鋼製ドラム 1種(200ℓ) (直径約 57cm×高さ約 85cm)	1 缶	約0.2 m <sup>3</sup>	0.2m <sup>3</sup> /1 袋×5 缶=1.0m <sup>3</sup>
軽トラック	1 台	約2.0 m <sup>3</sup>	
1 t トラック	1 台	約2.5 m <sup>3</sup>	
2 t トラック	1 台	約 5.0 m <sup>3</sup>	
4 t トラック	1 台	約 9.0 m <sup>3</sup>	

## 海浜等清掃活動実施状況調査票

記入年月日	令和 年 月 日
記入者 氏名	
〃 所属機関	
連絡先所在	都道府県名プルダウン 市 町 村
電話番号	
報告書送信先 メールアドレス	@



調査票 (3)

1. 清掃活動について(欄が足りない時は下に欄を加えて入力して下さい。)

(1) 令和3年の清掃活動一覧

市町村名 *1	開催日*2		活動名 大会名*3	主催者名	区分 *4	清掃地名 *5	清掃距離(km)・面積(km2)*6					回収量 (m <sup>3</sup> )*7		
	月	日					海岸 (km)	海域 (km2)	河岸 (km)	湖岸 (km)	湖域 (km2)	総量	人工物	自然物
例 ○○○市	7	20	○○○海岸 清掃(7月)	○○○市 ○○○子供会	ア、 エ	○○海岸	2	3				5	2	3
○○○市	8	15	○○○海岸 清掃(8月)	○○○市 ○○○子供会	ア、 エ	○○海岸	1					1	1	
○○○市	9	23	△△△湖 一斉清掃	○○○市 ○○○子供会	イ、 カ	△△△湖				2	3	3		
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														

\*1：開催地が属する市町村名を記入して下さい。

\*2：○月○日と記入して下さい。

\*3：名称が無い場合は空欄にして下さい。

\*4：主催者の区分を記入して下さい。主催者には「呼びかけ人」を含みます。

ア 行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)

イ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)

ウ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁港)

エ 海運・港湾関係

オ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等)

カ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)

キ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等)

ク マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)

ケ その他(上記以外の各団体)

\*5：地区名又は海岸名(河岸名、湖岸名)を記入して下さい。

\*6：海岸(河岸・湖岸)の場合は実際に清掃した距離(km)を、海上・海底又は湖上・湖底で回収した場合は実際に探索・回収活動を行った水域の面積(km2)を記入して下さい。不明な場合は空欄で構いません。

\*7：ごみの回収量(人工物、自然物、総量)を記入して下さい。総量しかわからない場合は総量のみを記入して下さい。

調査票 (4)

(2) 令和3年清掃活動団体一覧(欄が足りない時は下に欄を加えて入力して下さい。)

例	市町村名*1	団体名 (報告書に掲載可能な団体を記載して下さい。)	清掃活動歴 (年数)*2	区分*3	参加形態*4	延べ参加者数*5	費用負担*6(複数回答可)			
							ア:行政からの助成金	イ:民間団体からの助成金	ウ:自己(団体)負担	エ:その他(参加者個人の負担等)
例	〇〇〇市	〇〇海岸美化クラブ	8	キ	主催・参加	10	○		○	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										

\*1 : 団体の本部又は支部の住所地の市町村名を記入して下さい。

\*2 : 正確に分からなければ、おおよその年数で構いません。

\*3 : 団体について、該当する組織の種類をア～ケの中から選んで下さい。

ア 行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)

イ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)

ウ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁港)

エ 海運・港湾関係

オ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等)

調査票 (5)

カ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)

キ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等)

ク マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)

ケ その他(上記以外の各団体)

\*4: 令和3年(1月～12月)に清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合は「主催」を、参加した場合は「参加」を、両者の場合は「主催・参加」を選択して下さい。

\*5: 令和3年(1月～12月)に清掃活動に参加した自己の団体(職員・会員等。一時参加者を含む)の人数(累計=延べ人数)を記入して下さい。

清掃活動を主催(呼びかけを含む)した場合も、他団体の参加者は記入しないで下さい。

\*6: 清掃活動に要する費用について、該当するものをア～エの中から選んで記入して下さい。  
(複数回答可)

ア:行政からの助成金、イ:民間団体からの助成金、ウ:自己負担、エ:その他(参加者の負担等)

調査票 (6)

2. 参加者について

(1)清掃活動を実施した場所別の参加者数を記入して下さい。

	参加者延べ人数(人)
A 海岸	
B 海域	
C 河岸	
D 湖岸	
E 湖域	
計	

(2)参加者の内訳別の延べ人数を記入して下さい。

①総数	②成人男子	③成人女子	④大学生	⑤中・高校生	⑥小学生以下	⑦不明
名	名	名	名	名	名	名

※④～⑦については、男女を区別しなくて結構です。

調査票 (7)

3. 回収したごみの内訳について

・ごみの組成を詳細に把握している場合、その内訳を記入してください。

**A－海岸**

人 工 物	可燃物	布・紙 m <sup>3</sup>	材木、木片等 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	プラスチック類	ペットボトル m <sup>3</sup>	弁当箱、トレイ m <sup>3</sup>	ロープ、網 m <sup>3</sup>	フroot、パイ m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>
	不燃物	缶類 m <sup>3</sup>	ガラス m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
自然物		流木・草等 m <sup>3</sup>	海藻類 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>

**B－海域**

人 工 物	可燃物	布・紙 m <sup>3</sup>	材木、木片等 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	プラスチック類	ペットボトル m <sup>3</sup>	弁当箱、トレイ m <sup>3</sup>	ロープ、網 m <sup>3</sup>	フroot、パイ m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>
	不燃物	缶類 m <sup>3</sup>	ガラス m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
自然物		流木・草等 m <sup>3</sup>	海藻類 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>

**C－河岸**

人 工 物	可燃物	布・紙 m <sup>3</sup>	材木、木片等 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	プラスチック類	ペットボトル m <sup>3</sup>	弁当箱、トレイ m <sup>3</sup>	ロープ、網 m <sup>3</sup>	フroot、パイ m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>
	不燃物	缶類 m <sup>3</sup>	ガラス m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
自然物		流木・草等 m <sup>3</sup>	海藻類 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>

調査票 (8)

D-湖岸

人 工 物	可燃物	布・紙 m <sup>3</sup>	材木、木片等 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	プラスチック類	ペットボトル m <sup>3</sup>	弁当箱、トレイ m <sup>3</sup>	ロープ、網 m <sup>3</sup>	フロート、ブイ m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>
	不燃物	缶類 m <sup>3</sup>	ガラス m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	自然物	流木・草等 m <sup>3</sup>	海草類 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>

E-湖域

人 工 物	可燃物	布・紙 m <sup>3</sup>	材木、木片等 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	プラスチック類	ペットボトル m <sup>3</sup>	弁当箱、トレイ m <sup>3</sup>	ロープ、網 m <sup>3</sup>	フロート、ブイ m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>	計 m <sup>3</sup>
	不燃物	缶類 m <sup>3</sup>	ガラス m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>
	自然物	流木・草等 m <sup>3</sup>	海草類 m <sup>3</sup>	その他 m <sup>3</sup>			計 m <sup>3</sup>

調査票 (9)

4. 活動に対する支援状況について

事業実施における経費負担について、以下の項目毎に総件数と総額を記入して下さい。

①総額  件  万円	②行政  件 万円	③学校関係  件 万円	④水産関係  件 万円	⑤海運・港湾関係  件 万円	⑥地域関係  件 万円
	⑦青少年団体  件 万円	⑧企業関係  件 万円	⑨マリレジャー関係  件 万円	⑩その他  件 万円	

- ② 行政(国、都道府県、市町村、出先機関、外郭団体等)
- ③ 学校関係(小・中・高校、PTA、職員組合等)
- ④ 水産関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁港)
- ⑤ 海運・港湾関係
- ⑥ 地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、NPO、観光組合、海水浴場組合等)
- ⑦ 青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)
- ⑧ 企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業、職員組合等)
- ⑨ マリレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)
- ⑩ その他(上記以外の各団体)

海浜等清掃活動の写真

HP等で公開可能な写真(清掃前、清掃中、清掃後、回収されたごみ)を送って下さい。

どの清掃活動の写真か判別できるようにNo.欄に(1)令和3年の清掃活動一覧の左端の番号(シリアルナンバー=連番)を記入して下さい。

都道府県名プルダウン

市 町 村

No.

清掃前

(ごみが散乱集積している海岸等の写真)

都道府県名プルダウン

市 町 村

No.

清掃中

(清掃作業の状況等)



海浜等清掃活動・写真集

HP 等で公開可能な写真(清掃前、清掃中、清掃後、回収されたごみ)を送って下さい。

どの清掃活動の写真か判別できるように No.欄に (1) 令和 3 年の清掃活動一覧の左端の番号(シリアルナンバー=連番)を記入して下さい。

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

清掃後  
(きれいになった海岸等の写真)

都道府県名プルダウン

市 町 村 No.

回収されたごみ  
(ごみの種類が判別出来るような写真)

### 3 調査結果

#### 3-1 活動の規模

##### (1) 活動回数

清掃活動を実施した月別の実施回数と割合を図 2 及び図 3 に示す。

令和 3 年には、全国で延べ 11,588 回(コロナ禍直前の令和元年は 14,920 回、コロナ過中の令和 2 年度では 10,982 回)の清掃活動が行われた。特に 6 月、7 月、8 月の実施回数が多く全体の約 4 割を占めた。また、5 月から 10 月までの半年間で全体の 2/3 を占めた。

実施回数  
(回)

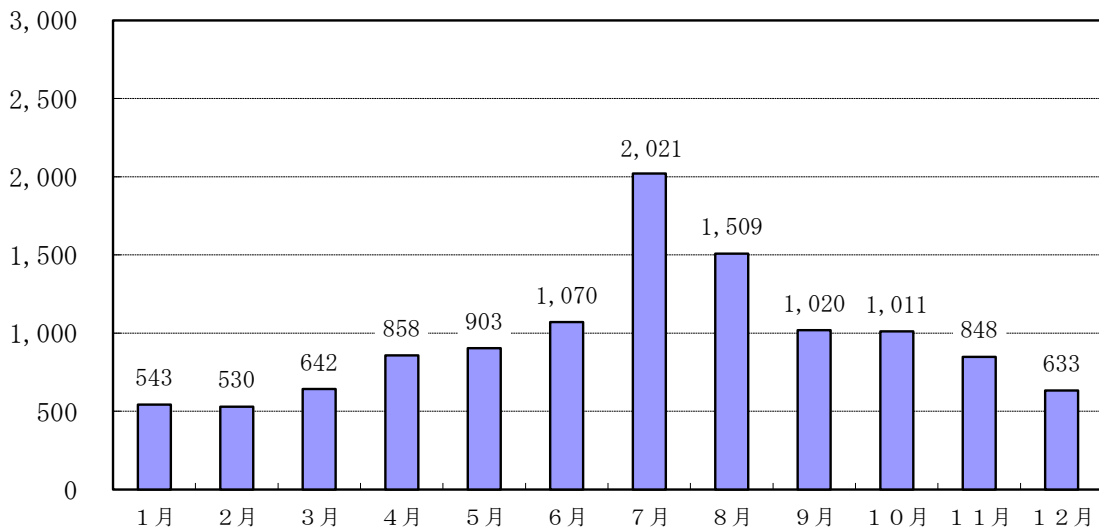


図 2 月別実施回数

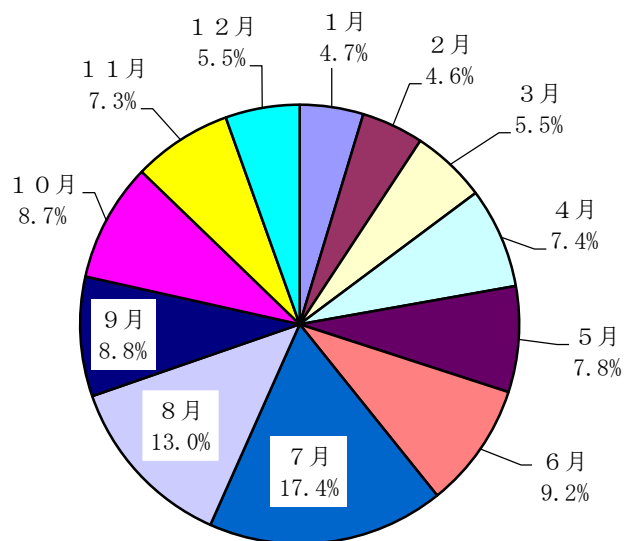


図 3 月別実施回数の割合

(2) 清掃を実施した場所別の清掃規模と参加人数

清掃実施場所別の清掃規模と参加人数を表 2 に、清掃実施場所別の参加人数の割合を図 4 に、参加者 1 人あたりの延べ清掃距離を図 5 に示す。

清掃活動の延べ参加人数は、延べ 43 万人(コロナ禍直前の令和元年は 92 万人、コロナ過中の令和 2 年度では 32 万人)であった。参加人数を活動場所別にみると、海岸 (35 万人) と河岸 (7 万人) での活動が多く、この 2 つをあわせると全参加人数の約 99 %を占めた。

延べ清掃距離を比較すると、海岸が 8 千 407 km、河岸が 750 km であるのに対し湖岸は 73 km と短かった。また、海域の清掃面積は 568 km<sup>2</sup>、湖域の清掃面積は 33 km<sup>2</sup>であった。

延べ清掃距離を参加人数で除した 1 人あたりの清掃距離は、海岸で 33.6 m、河岸で 31.5 m、湖岸で 62.2 m であった。

表 2 清掃実施場所別の清掃規模と参加人数

	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
清掃人数 (人)	425, 836	349, 381	5, 665	66, 826	3, 429	535
清掃距離						
延べ距離 (km)	9, 229	8, 407	—	750	73	—
面積 (km <sup>2</sup> )	601	—	568	—	—	33

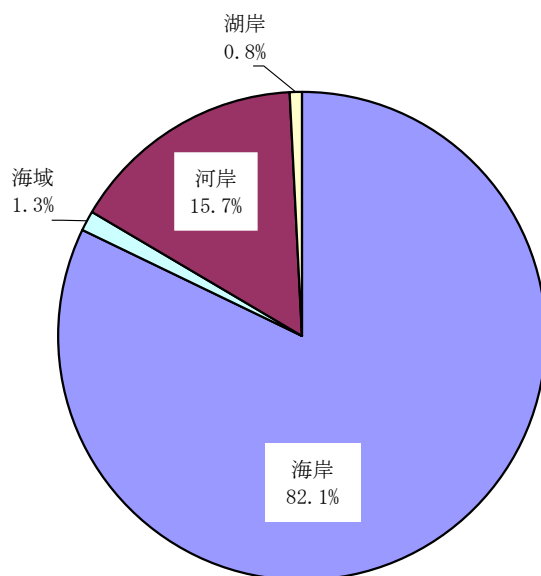
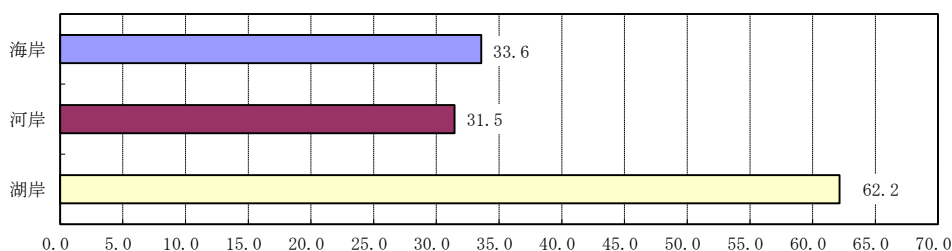


図 4 清掃実施場所別の参加人数の割合



注：延べ清掃距離及び参加人数の双方に回答があるデータから算出した。(m/人)

図 5 参加者 1 人あたりの延べ清掃距離

### (3) 活動参加者の構成

参加者の構成を図 6 に示す。

参加者の内訳は、成人男子が62.0%、成人女子が18.2%、大学生が0.7%、中・高校生が10.9%、小学生以下が8.2%であった。

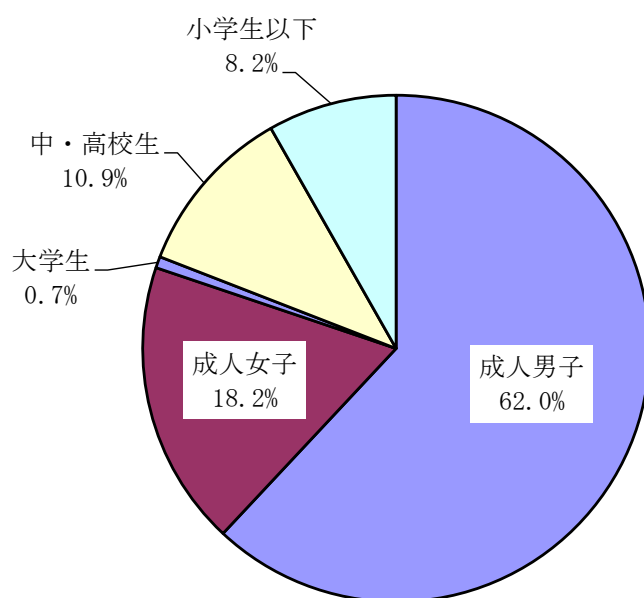


図 6 参加者の構成割合

#### (4) 清掃活動の主催者及び参加者

清掃活動の主催者別割合を図 7 に、参加者別割合を図 8 に示す。清掃活動の主催者、参加者ともに「地域関係」の割合が高く、主催者では 36.7%、参加者では 29.5%を占めていた。また、「行政」は主催者で 18.3%、「企業関係」は参加者で 17.2%を占め、「地域関係」に次いで大きな役割を果たしていた。これらに次ぐのが「水産関係」であった。

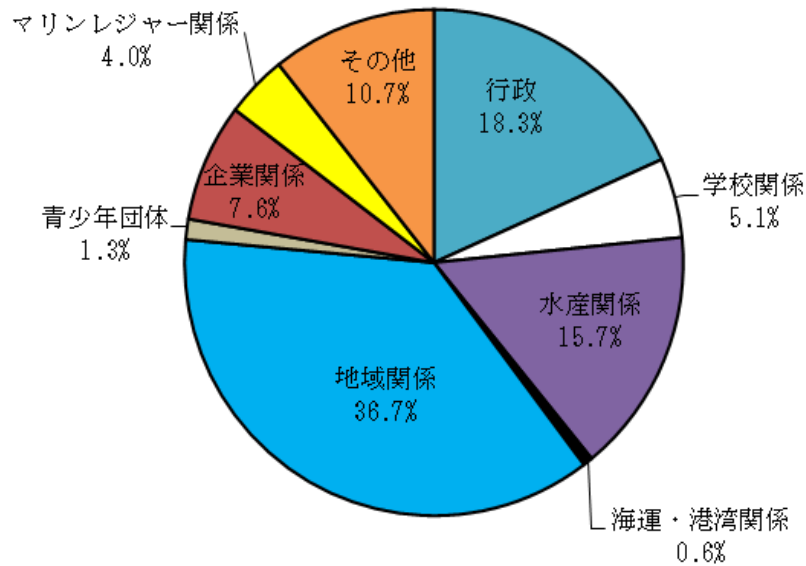


図 7 主催者の構成割合

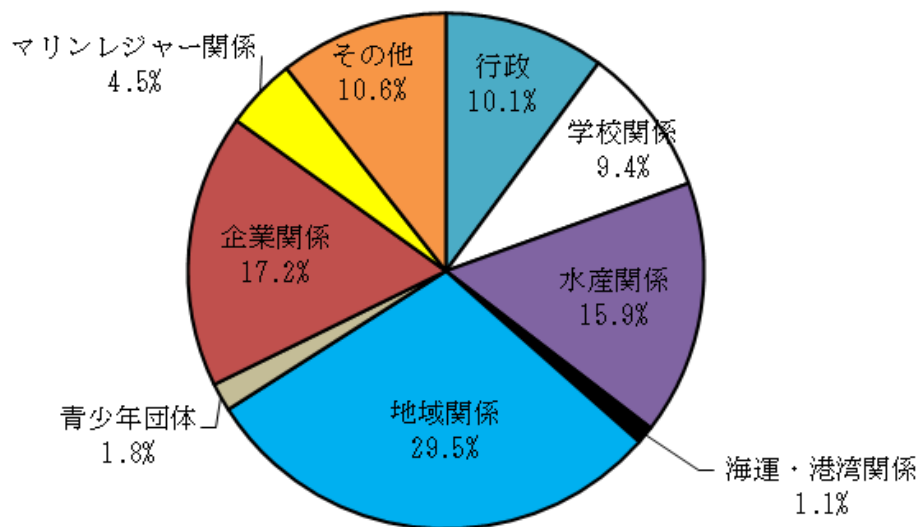


図 8 参加者の構成割合

#### (5) 活動資金の調達

清掃活動の資金調達先（件数）を表3に、清掃活動への団体別支援額の割合を表4に示した。

活動資金の調達先で最も多かったのは自己負担（「自己(団体)負担」と「その他（参加者個人の負担等）」の合計）で984件、次に行政で589件、民間団体からの助成金は52件と最も少なかった。また、「行政からの助成金」に頼らず清掃活動を行った件数は707件と、回答者全体の53.6%を占めた。さらに、自己資金のみで活動した団体は、「自己(団体)負担」と「その他（参加者個人の負担等）」を合わせて657件と回答者全体の49.8%に上った。

表3 活動資金の調達先

行政からの助成金	民間団体からの助成金	自己(団体)負担	その他(参加者個人の負担等)	延べ回答数
589件 (340件)	52件 (21件)	822件 (539件)	162件 (118件)	1,320件

注) 括弧内は活動資金の調達先が当該団体のみであった件数である。

次に支援金の額については、「行政」が圧倒的に多くて全体の84.5%、次いで「水産関係」が8.4%、「地域関係」が4.1%であった。「行政」を除いては「水産関係」の負担割合が高いのが目を引いた。

表4 活動支援額の割合

行政	学校関係	水産関係	海運・港湾関係	地域関係	青少年団体	企業関係	マリンレジャー関係	その他
84.5%	0.7%	8.4%	0.4%	4.1%	0.1%	0.6%	0.0%	1.3%

(6) 組織の活動年数 (回答数 1,009 件)

清掃活動年数を表 5 及び図 9 に示す。清掃活動を行う組織の活動年数をみると、回答数の 23%が 5 年未満、10%が 5 年以上 10 年未満、26%が 10 年以上 20 年未満、41%が 20 年以上であった。また、最長は 30 年であった。このことから、長年に亘り継続して清掃活動に取り組んでいる団体が多い(10 年以上 66%)中、新たに清掃活動に参加する団体も着実に出てきている(5 年未満 23%)ことが分かる。

表 5 組織の活動年数

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上
230 件 (23%)	103 件 (10%)	258 件 (26%)	418 件 (41%)

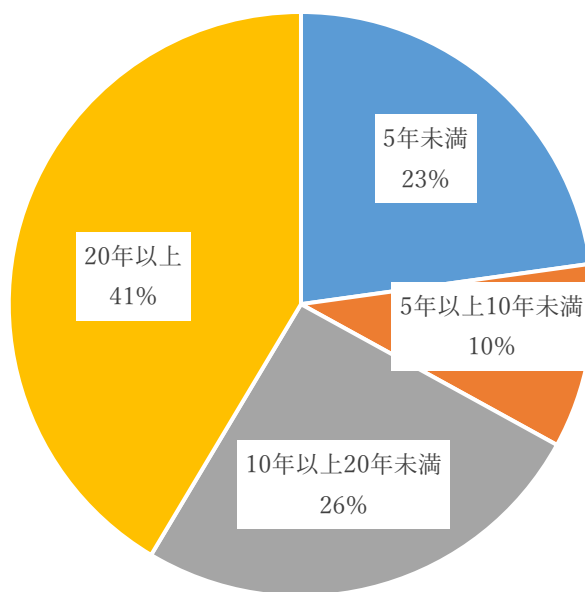


図 9 清掃活動を行った組織の活動年数

### 3-2 ごみの回収状況

#### (1) ごみの回収量

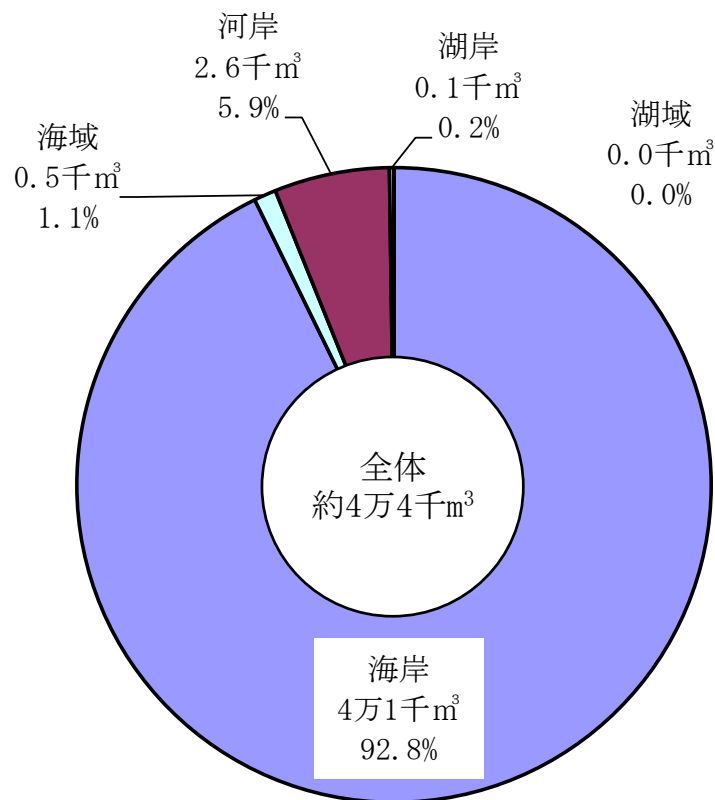
清掃場所別のごみ回収量とその割合を図 10 に、参加者 1 人あたり及び汀線 1km あたりのごみ回収量をそれぞれ図 11 及び図 12 に示す。

ごみの回収量は、全体で約 4 万 4 千  $m^3$  (8,800 トン) であった。なお、この回収量はごみの種類を把握しているものと、総量のみ把握しているものの合計値である。

清掃場所別では海岸が約 4 万 1 千  $m^3$  で最も多く、次いで河岸が約 2.6 千  $m^3$  となっており、この 2 つを合わせると全体の約 99% を占めた。

参加者 1 人あたりのごみ回収量は、海域が最も多く 0.46  $m^3$ 、次いで海岸が 0.19  $m^3$ 、河岸および湖域が 0.05  $m^3$  となっており、最も少なかった湖岸は 0.03  $m^3$  であった。

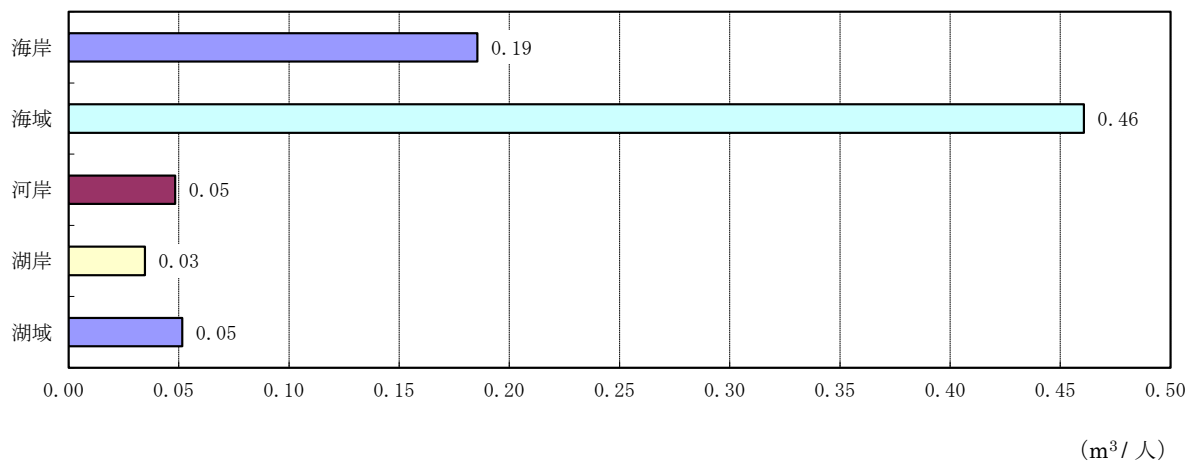
汀線 1 km あたりのごみ回収量は、河岸が約 3.81  $m^3/km$  で最も多かった。



注：各値は四捨五入してあるため、合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。

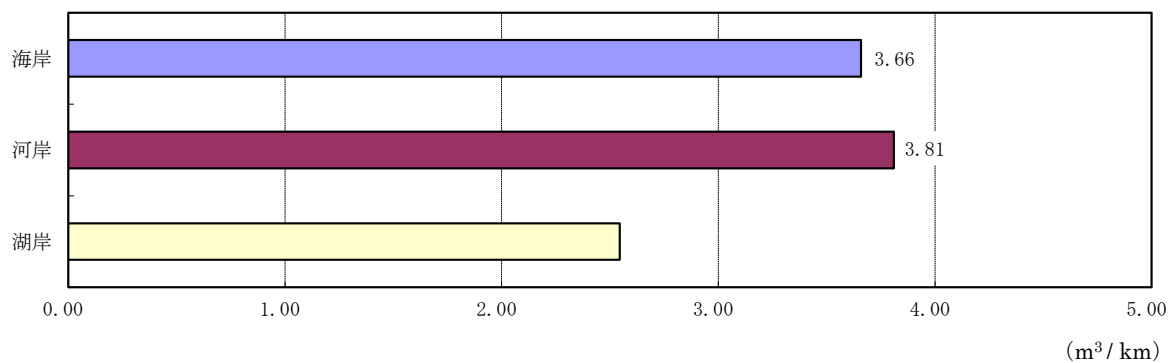
図 10 ごみ回収量とその割合





注：場所別の参加人数及びごみ回収量の双方に回答があるデータから算出した。

図 11 参加者 1 人あたりのごみ回収量



注：延べ清掃距離及びごみ回収量の双方に回答があるデータから算出した。

図 12 汀線 1 k m あたりのごみ回収量

(2) ごみの種類

清掃を実施した場所別のごみ回収量及びその種類を表 6 及び図 13.1～図 18.2 では、「種類を把握しているごみ」について、場所別に人工物と自然物の種類別構成割合を示す。

「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」を合計した場合の人工物と自然物の割合(全体)はおおよそ 3 : 1 であった。また、「種類を把握しているごみ」のうち人工物と自然物について、各々種類別の構成割合をみると、人工物では「人工物その他」が全体の 7 割、自然物では「流木」が全体の 7 割を占めていた。

「種類を把握しているごみ」と「種類を把握していないごみ」の合計について清掃場所別に人工物と自然物の割合を見ると、海岸で 4 : 1、海域で 3 : 2、河岸で 1 : 6、湖岸で 1 : 1、湖域で 7 : 3 であった。

表 6 種類別のごみ回収量(回答数 4,905)

単位 : m<sup>3</sup>

項目	種類	全体	海岸	海域	河岸	湖岸	湖域
種類を把握しているごみ	布・紙	30 (1.0%)	15 (0.6%)	1 (0.7%)	13 (12.3%)	0 (4.3%)	0 (0.0%)
	材木、木片等	163 (5.4%)	126 (4.6%)	28 (18.7%)	7 (7.1%)	1 (17.3%)	0 (0.0%)
	ペットボトル	233 (7.8%)	210 (7.7%)	6 (4.1%)	16 (15.3%)	0 (7.6%)	0 (0.0%)
	弁当箱、トレイ	80 (2.7%)	70 (2.6%)	1 (0.5%)	9 (8.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	ロープ、網	146 (4.8%)	141 (5.1%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (9.1%)
	フロート、ブイ	97 (3.2%)	65 (2.4%)	28 (18.2%)	0 (0.0%)	2 (41.5%)	2 (35.5%)
	缶類	91 (3.0%)	81 (3.0%)	0 (0.0%)	9 (8.6%)	0 (5.7%)	0 (0.0%)
	ガラス	31 (1.0%)	31 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (1.0%)	0 (0.0%)
	人工物その他	2,135 (71.0%)	1,998 (73.0%)	83 (54.9%)	50 (47.1%)	1 (22.5%)	3 (55.4%)
	人工物計	3,005 (100.0%)	2,738 (100.0%)	152 (100.0%)	105 (100.0%)	6 (100.0%)	5 (100.0%)
	流木	1,320 (73.6%)	1,137 (72.8%)	16 (35.8%)	166 (91.7%)	0 (9.1%)	1 (100.0%)
	海草・水草	157 (8.8%)	136 (8.7%)	6 (13.4%)	15 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	自然物その他	316 (17.6%)	289 (18.5%)	23 (50.8%)	0 (0.0%)	4 (90.9%)	0 (0.0%)
	自然物計	1,793 (100.0%)	1,562 (100.0%)	45 (100.0%)	181 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)
小計	4,798 -	4,300 -	196 -	286 -	10 -	6 -	
種類を把握していない	人工物ごみ	7,534 (78.2%)	7,321 (92.2%)	61 (39.2%)	139 (9.2%)	12 (43.1%)	0 (32.8%)
	自然物ごみ	2,097 (21.8%)	616 (7.8%)	95 (60.8%)	1,370 (90.8%)	15 (56.9%)	1 (67.2%)
	小計	9,631 (100.0%)	7,938 (100.0%)	157 (100.0%)	1,509 (100.0%)	27 (100.0%)	1 (100.0%)
人工物ごみと自然物ごみ	人工物ごみの合計	10,539 (73.0%)	10,059 (82.2%)	213 (60.4%)	244 (13.6%)	17 (46.9%)	5 (73.7%)
	自然物ごみの合計	3,890 (27.0%)	2,178 (17.8%)	140 (39.6%)	1,550 (86.4%)	20 (53.1%)	2 (26.3%)
	小計	14,430 (100.0%)	12,238 (100.0%)	353 (100.0%)	1,795 (100.0%)	37 (100.0%)	7 (100.0%)
総量のみ把握		29,927 -	28,911 -	148 -	810 -	59 -	0 -
合計		44,357 -	41,148 -	501 -	2,605 -	96 -	7 -

注：各欄の値は四捨五入してあるため、人工物計・自然物計・合計はその内訳の合算値と一致しない場合がある。

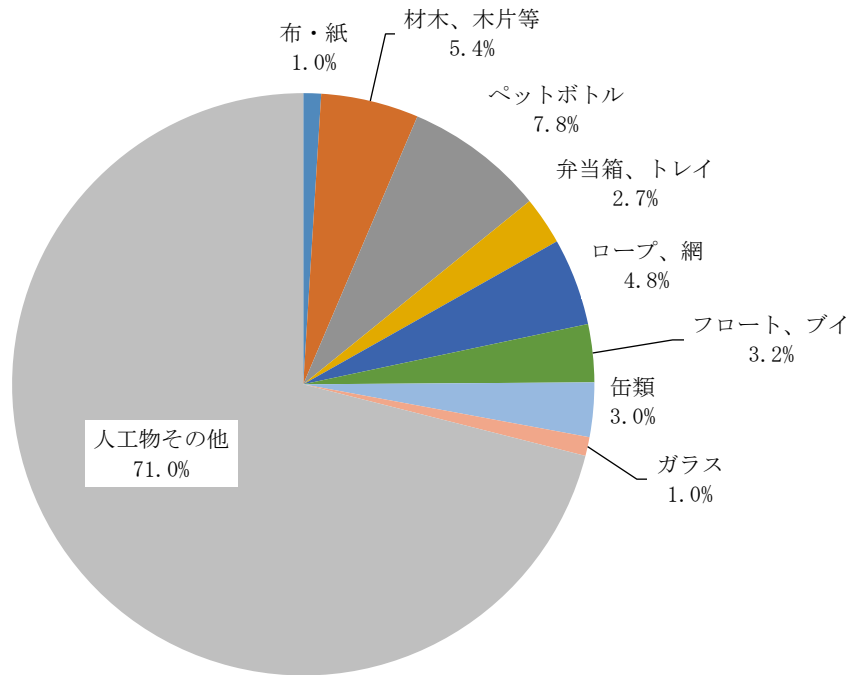


図 13.1 人工物ごみの種類別割合 (全体)

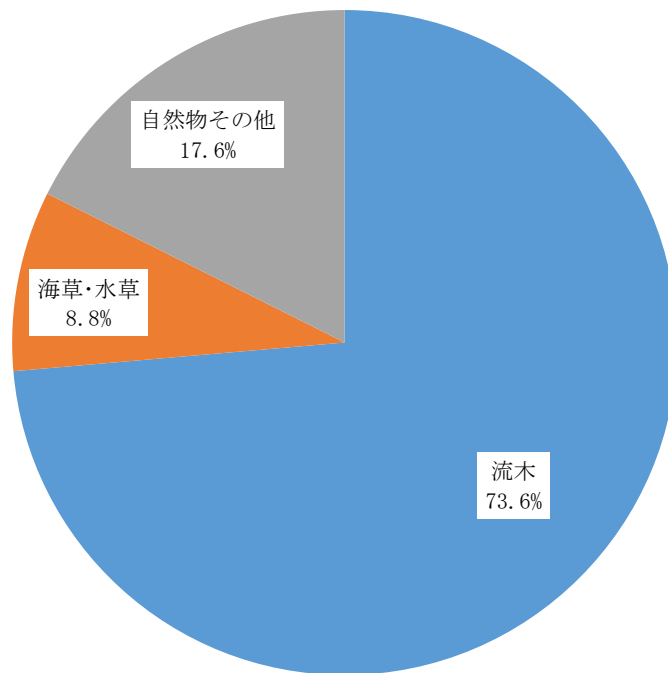


図 13.2 自然物ごみの種類別割合 (全体)

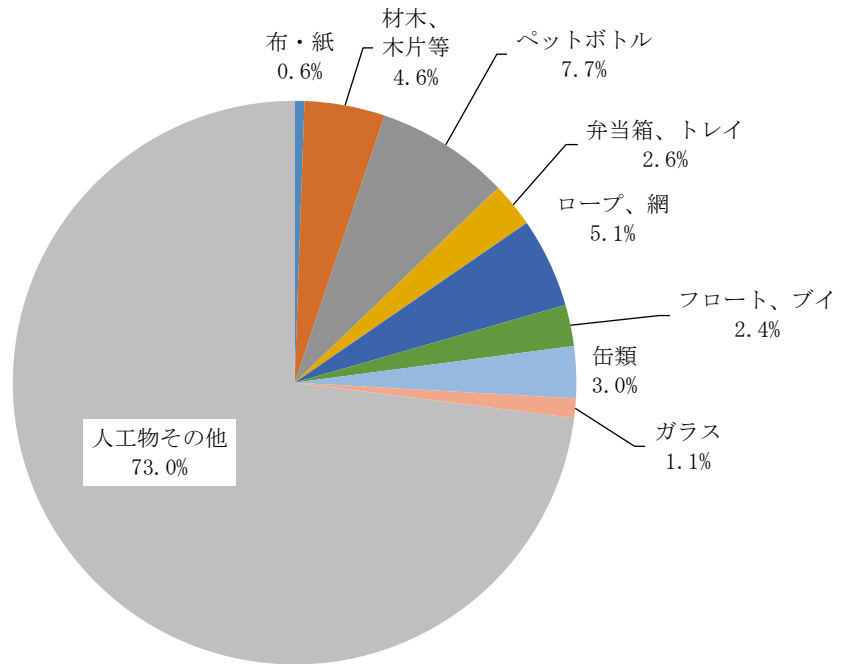


図 14.1 人工物ごみの種類別割合 (海岸)

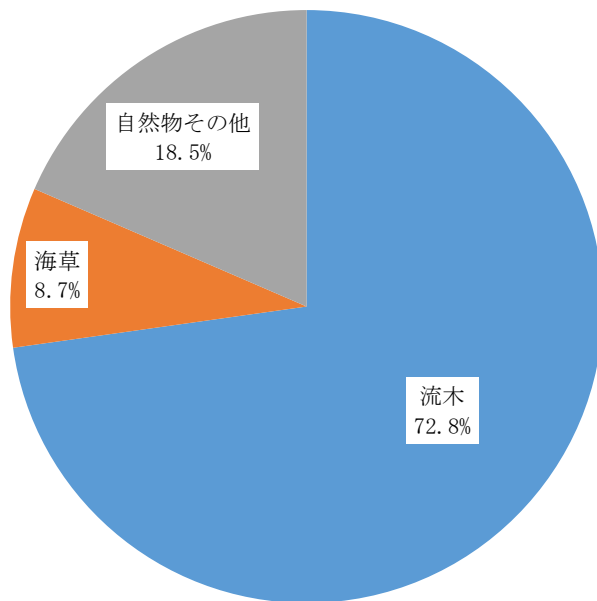


図 14.2 自然物ごみの種類別割合 (海岸)

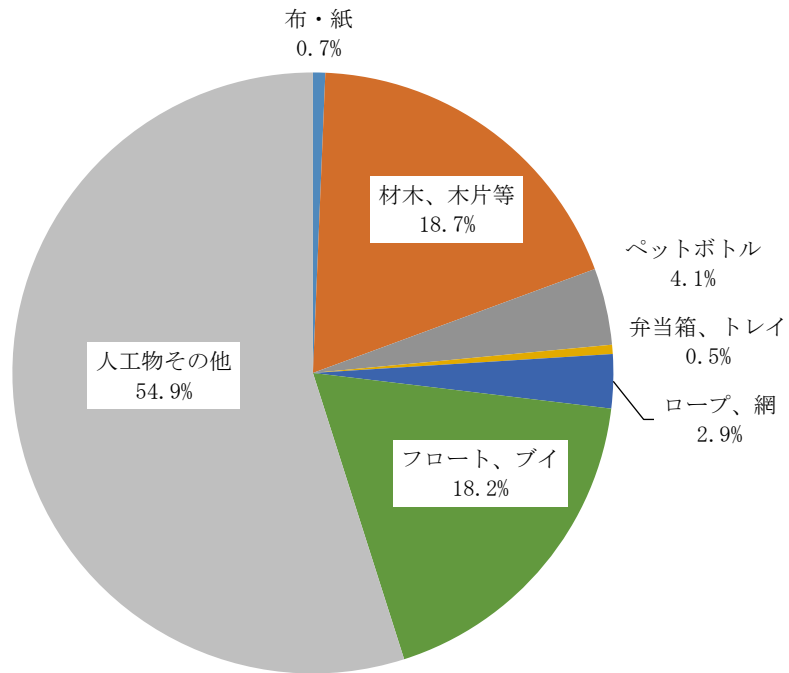


図 15.1 人工物ごみの種類別割合（海域）

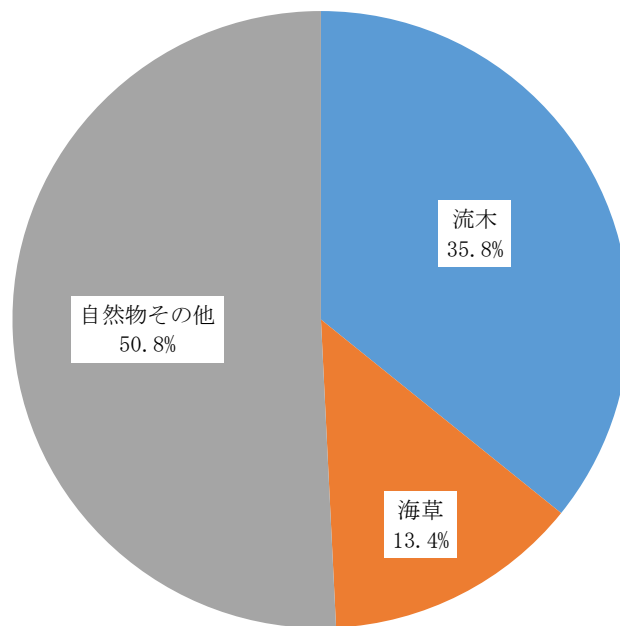


図 15.2 自然物ごみの種類別割合（海域）

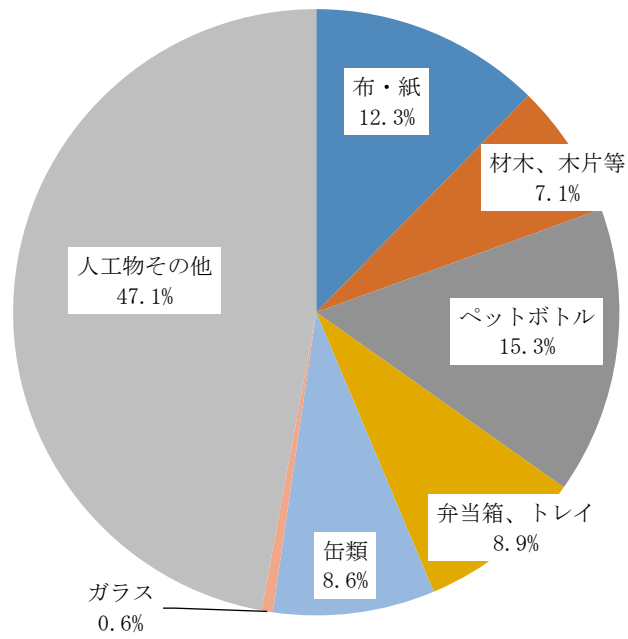


図 16.1 人工物ごみの種類別割合 (河岸)

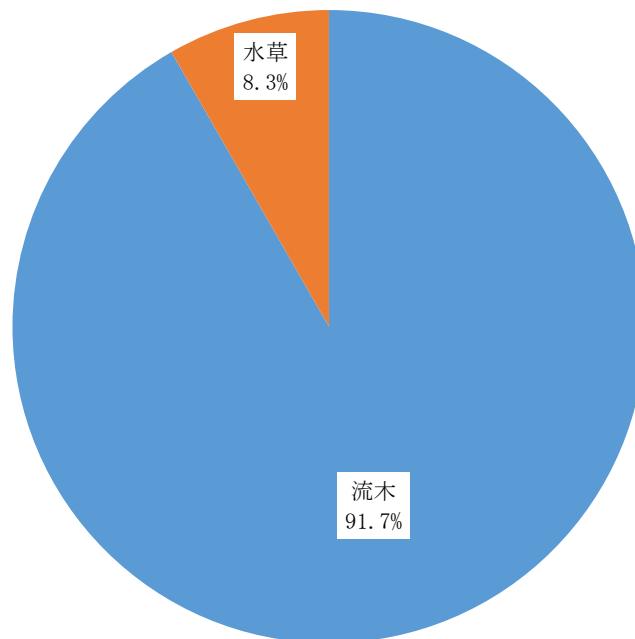


図 16.2 自然物ごみの種類別割合 (河岸)

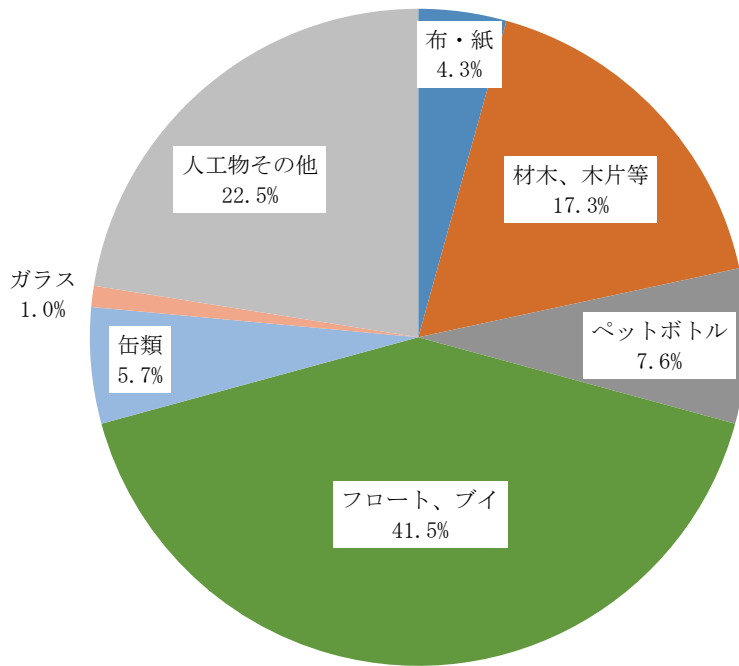


図 17.1 人工物ごみの種類別割合 (湖岸)

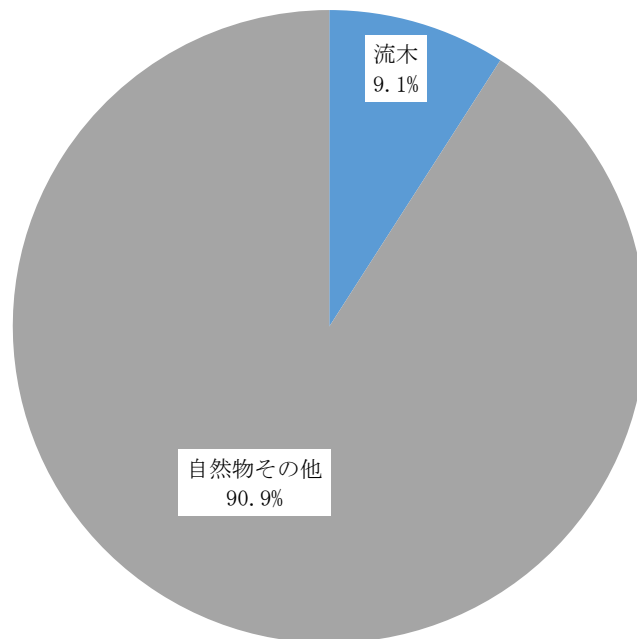


図 17.2 自然物ごみの種類別割合 (湖岸)

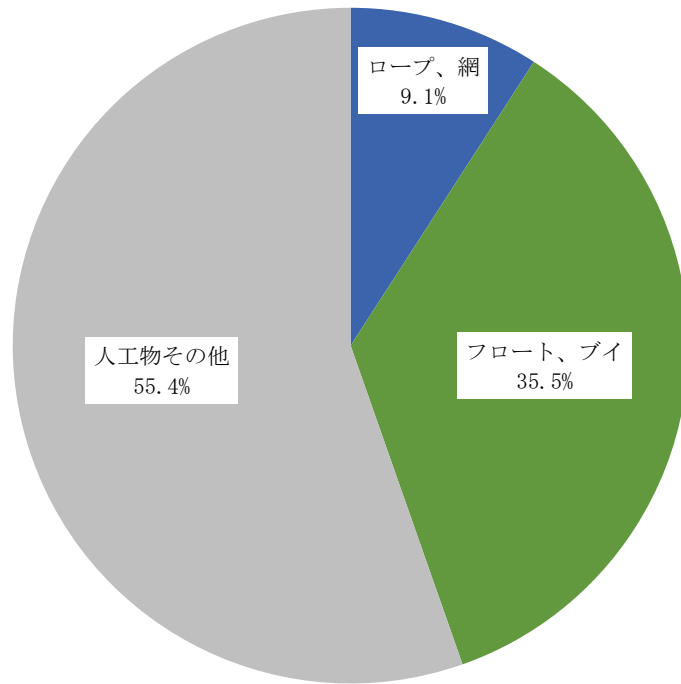


図 18.1 人工物ごみの種類別割合（湖域）

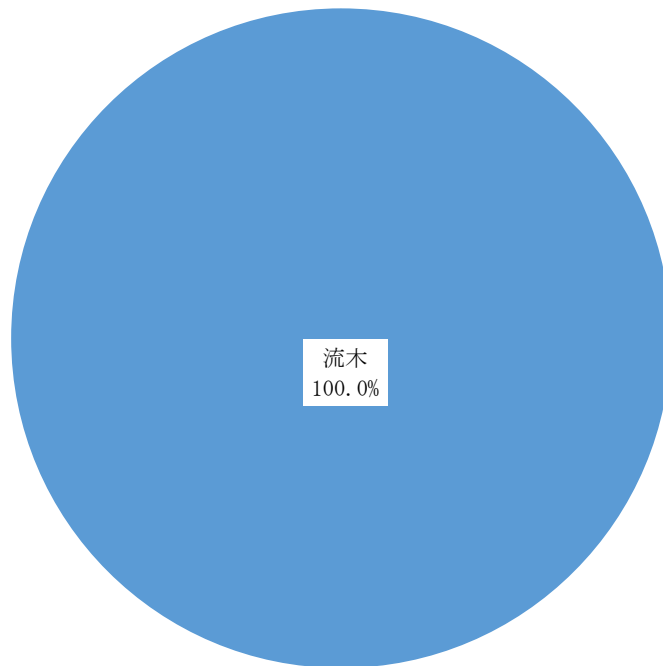
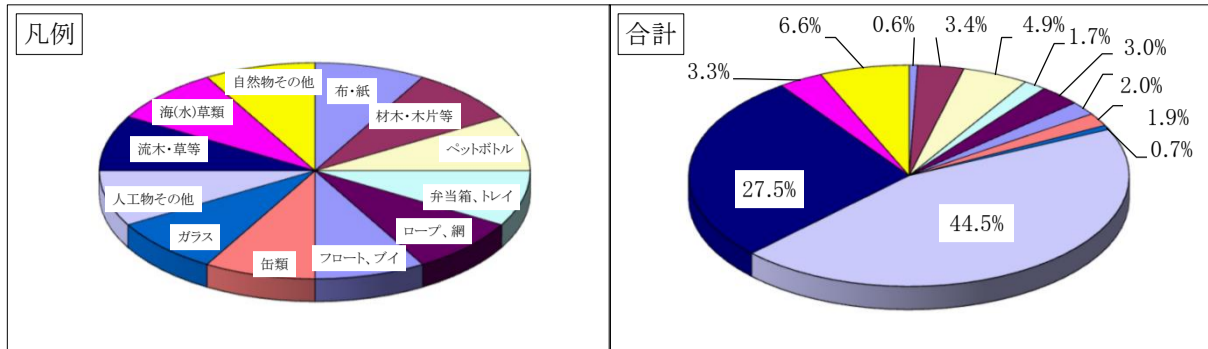


図 18.2 自然物ごみの種類別割合（湖域）



## 全国ごみマップ

ごみの種類別の割合について、都道府県毎に整理したマップを図 19、同じく海岸のごみマップを図 20 に、海域のごみマップを図 21 に、河岸のごみマップを図 22 に、湖岸のごみマップを図 23 に、湖域のごみマップを図 24 に示す。



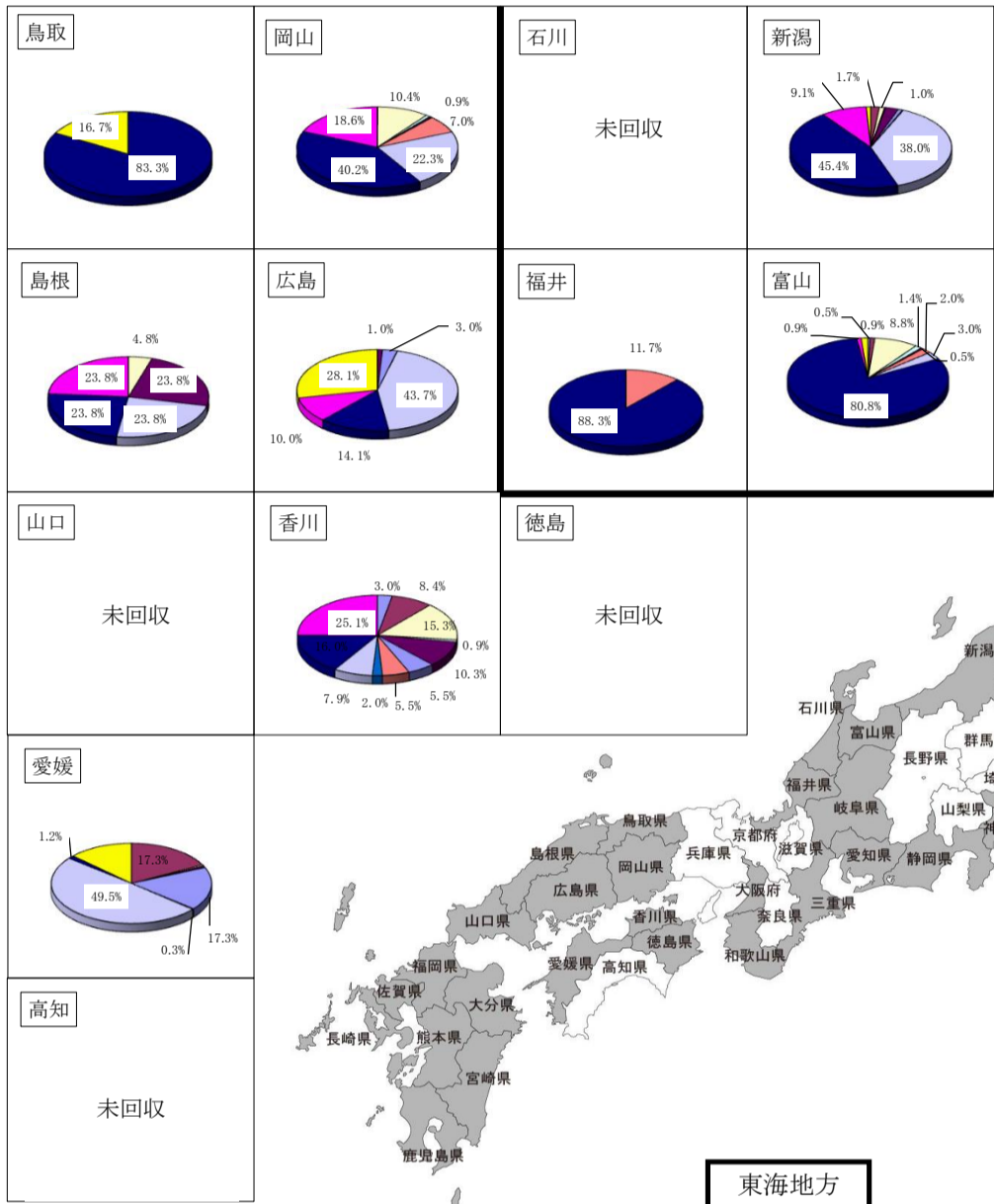
**清掃活動の規模**

清掃距離 9,229 km  
 清掃水域面積 601 km<sup>2</sup>  
 清掃人数 425,836 人  
 種類を把握しているごみ量 4,798 m<sup>3</sup>  
 種類を把握していないごみ量 39,559 m<sup>3</sup>  
 ごみ回収量合計 44,357 m<sup>3</sup>

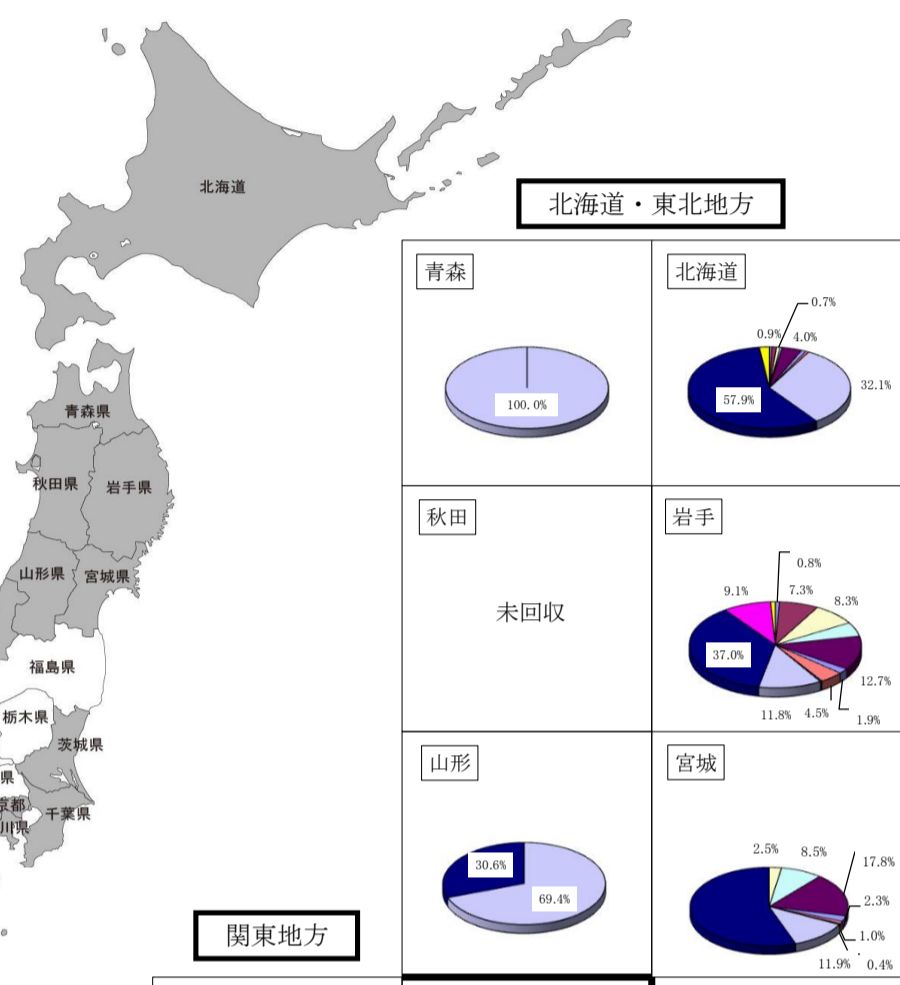
□ : 回答が得られなかった都道府県  
 ■ : 回答が得られた都道府県

**中国・四国地方**

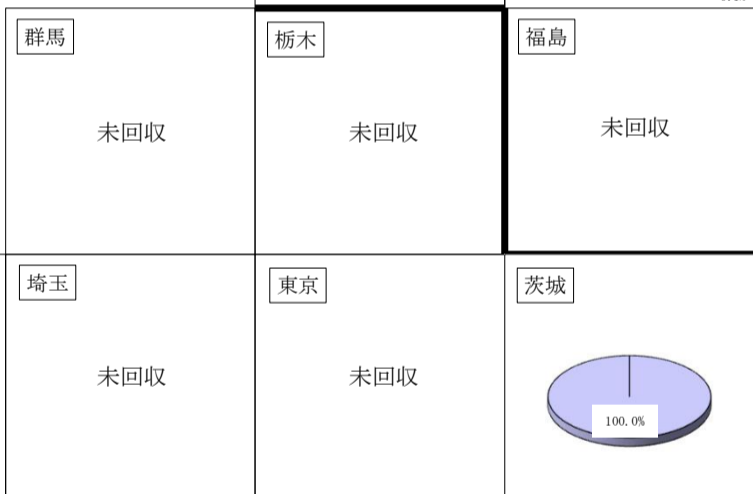
**北陸地方**



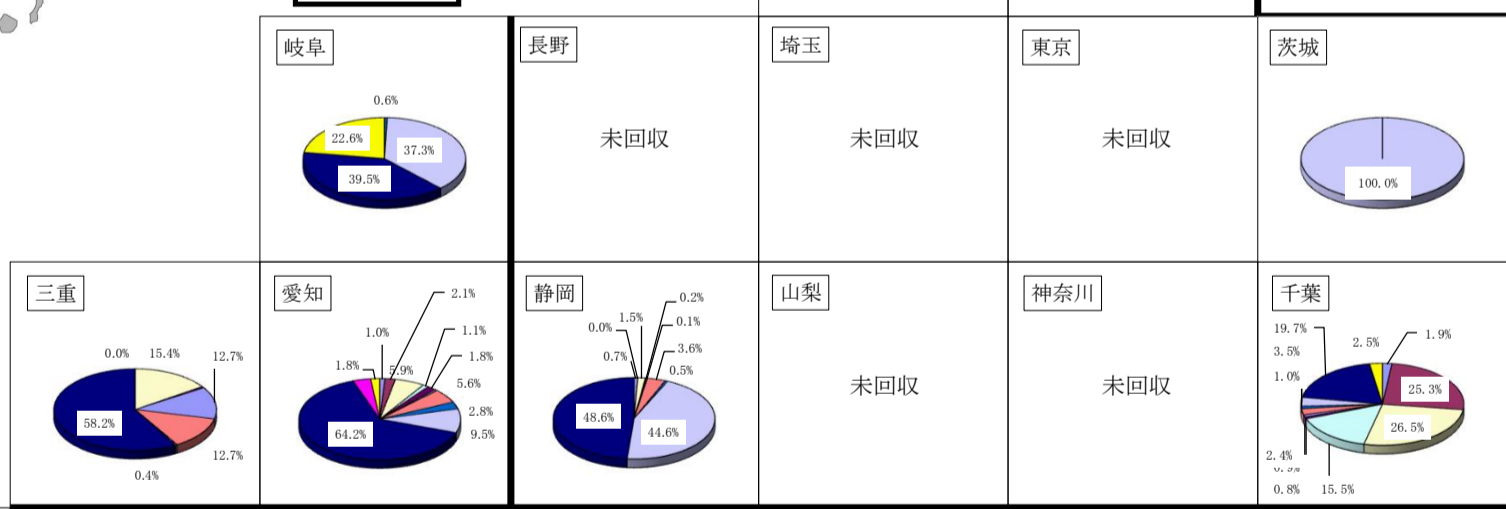
**北海道・東北地方**



**関東地方**

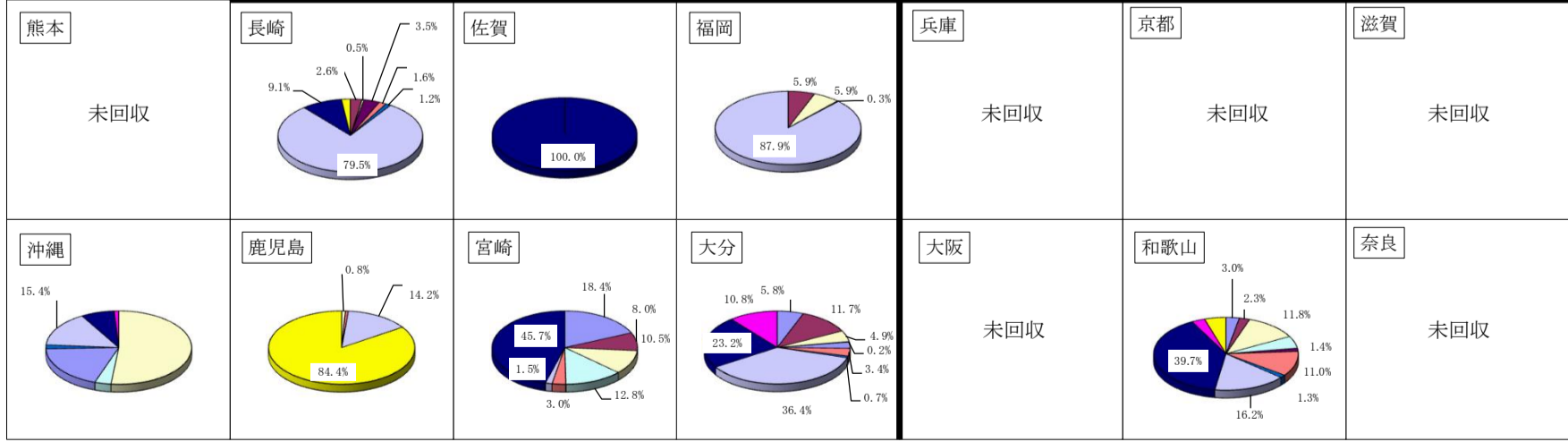


**東海地方**



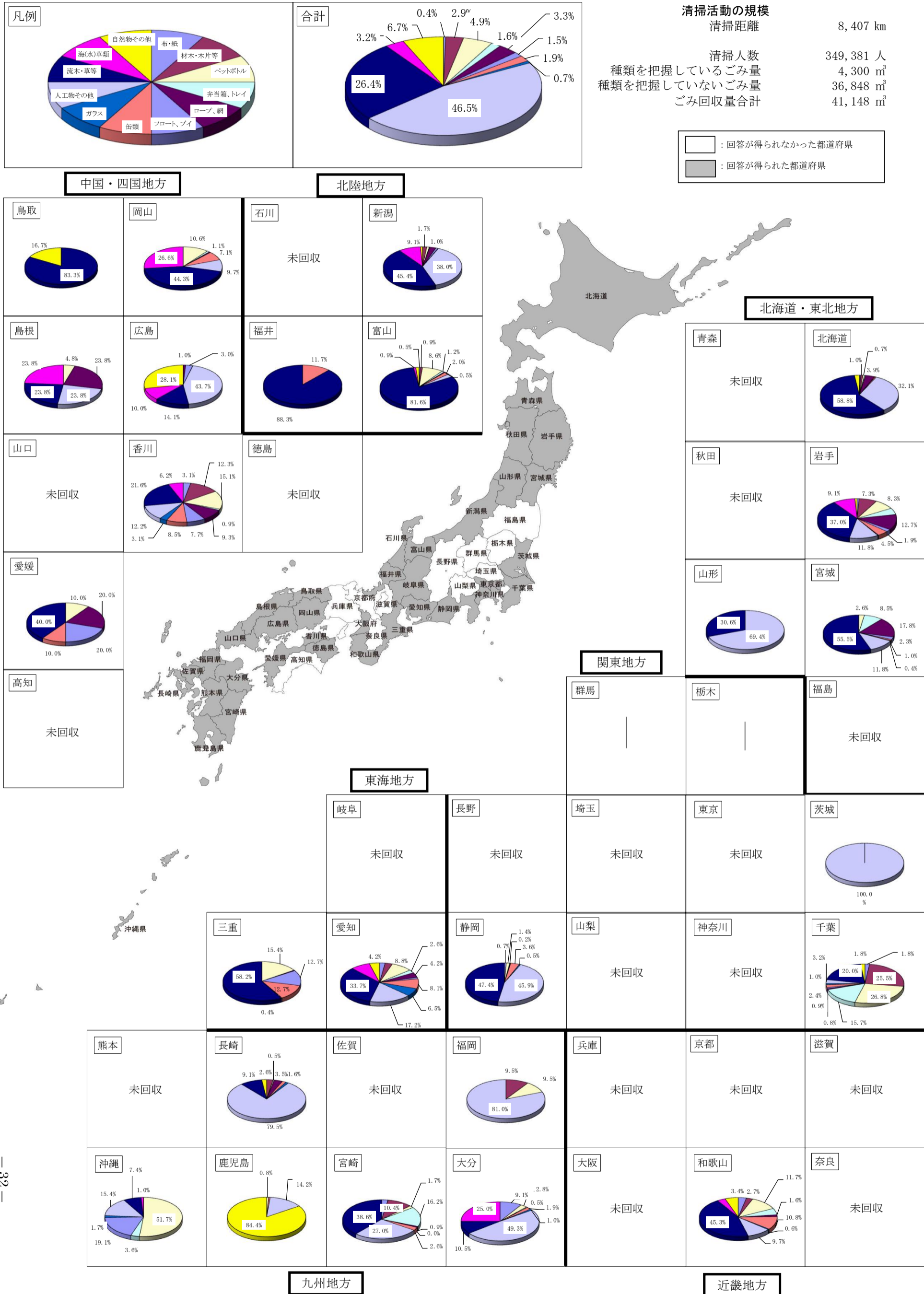
**九州地方**

**近畿地方**



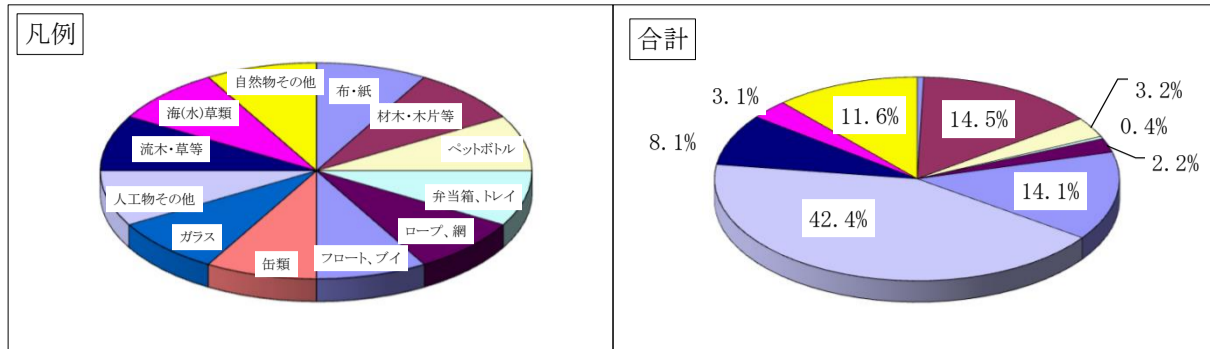
注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。  
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 19 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況(全地域)



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。  
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 20 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況 (海岸)



**清掃活動の規模**

清掃水域面積	568 km <sup>2</sup>
清掃人数	5,665 人
種類を把握しているごみ量	196 m <sup>3</sup>
種類を把握していないごみ量	305 m <sup>3</sup>
ごみ回収量合計	501 m <sup>3</sup>

□ : 回答が得られなかった都道府県  
 ■ : 回答が得られた都道府県

**中国・四国地方**

**北陸地方**

鳥取 未回収	岡山 90.9% 1.8%, 0.9%, 4.5%, 0.9%, 0.9%	石川 未回収	新潟 未回収
島根 未回収	広島 未回収	福井 未回収	富山 未回収
山口 未回収	香川 10.0%, 2.5%, 21.5%, 1.5%, 30.0%, 5.0%, 2.0%, 27.5%	徳島 未回収	
愛媛 51.1%, 13.4%, 17.9%, 17.3%			
高知 未回収			

**北海道・東北地方**

青森 未回収	北海道 未回収
秋田 未回収	岩手 未回収
山形 未回収	宮城 未回収

**関東地方**

群馬 未回収	栃木 未回収	福島 未回収
-----------	-----------	-----------

**東海地方**

岐阜 100.0%	長野 未回収	埼玉 未回収	東京 未回収	茨城 未回収
三重 未回収	愛知 未回収	静岡 未回収	山梨 未回収	千葉 89.5%, 10.5%

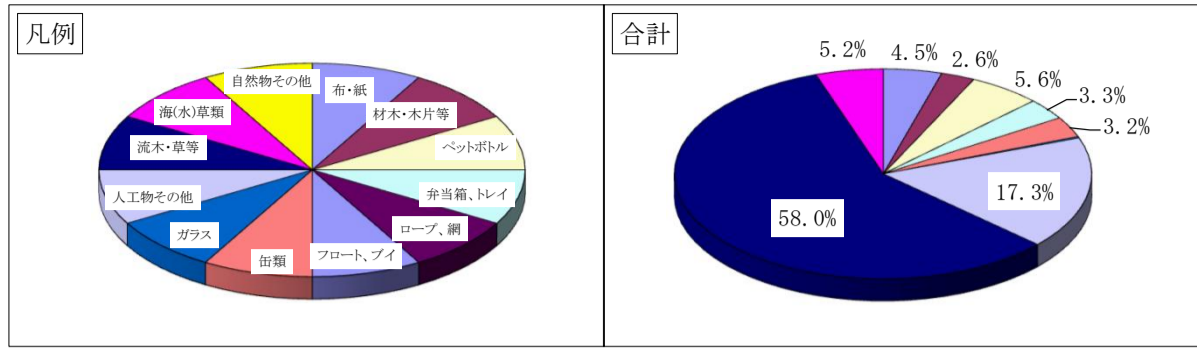
熊本 未回収	長崎 未回収	佐賀 未回収	福岡 未回収	兵庫 未回収	京都 未回収	滋賀 未回収
沖縄 未回収	鹿児島 未回収	宮崎 未回収	大分 未回収	大阪 未回収	和歌山 100.0%	奈良 未回収

**九州地方**

**近畿地方**

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。  
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 21 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況(海域)



**清掃活動の規模**  
 清掃距離 750 km  
 清掃人数 66,826 人  
 種類を把握しているごみ量 286 m<sup>3</sup>  
 種類を把握していないごみ量 2,319 m<sup>3</sup>  
 ごみ回収量合計 2,605 m<sup>3</sup>

□ : 回答が得られなかった都道府県  
 ■ : 回答が得られた都道府県

**中国・四国地方**

**北陸地方**

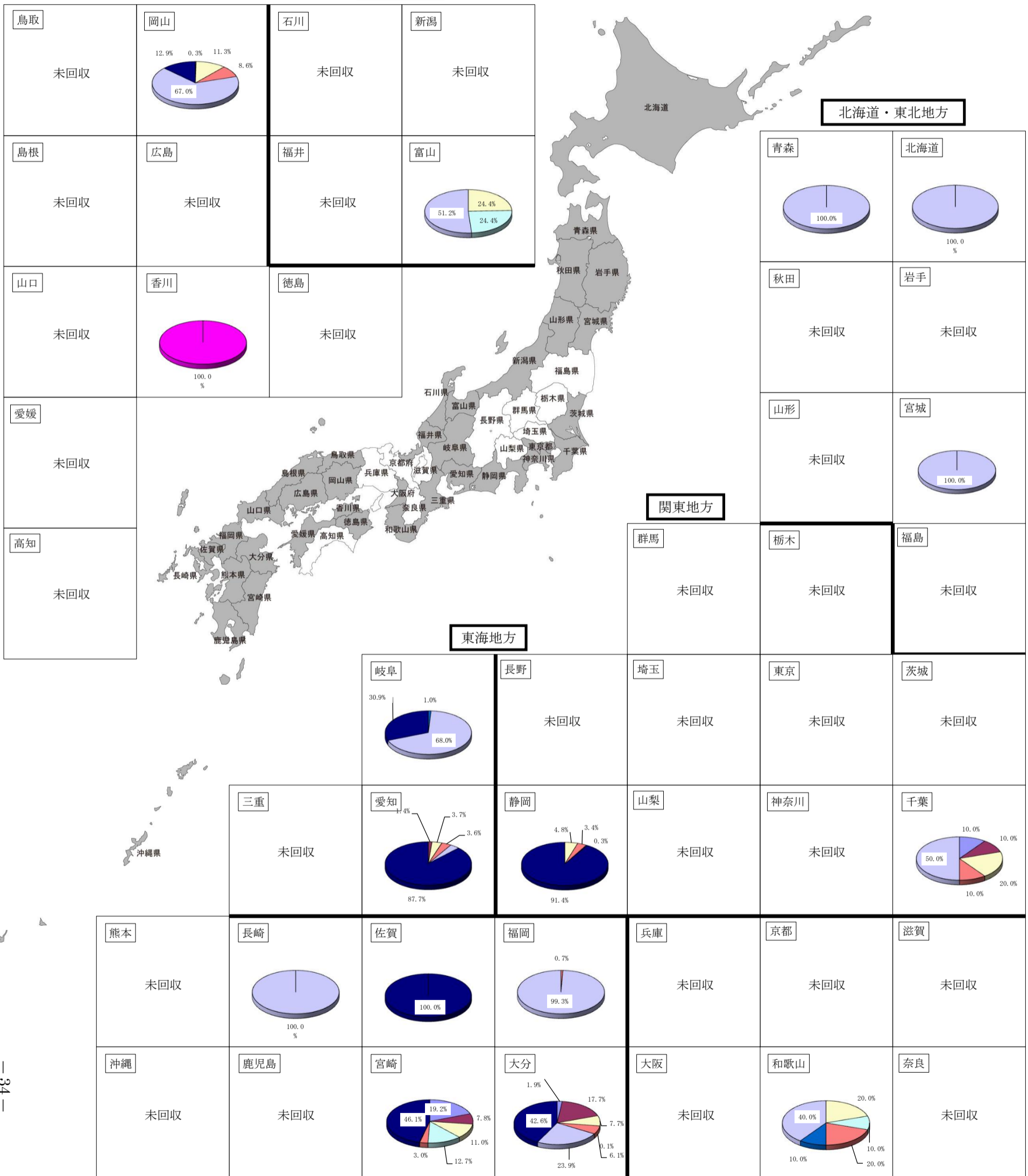
**北海道・東北地方**

**関東地方**

**東海地方**

**九州地方**

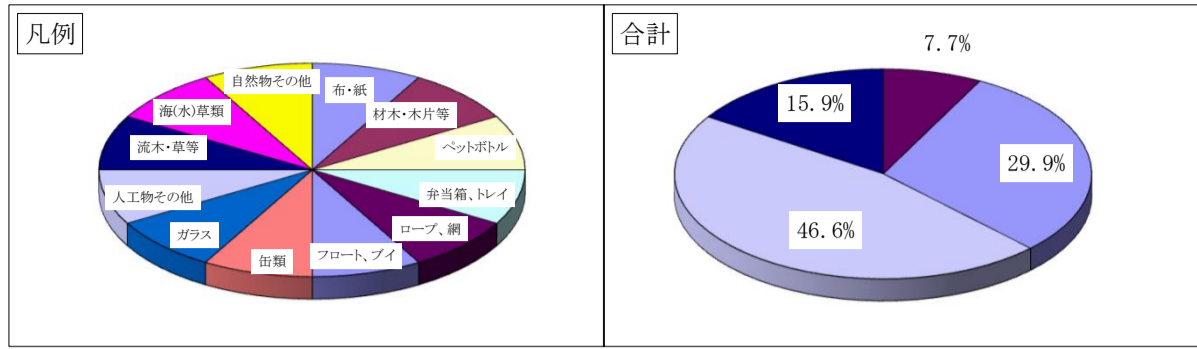
**近畿地方**



注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。  
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 22 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況(河岸)





**清掃活動の規模**

清掃水域面積	33 km <sup>2</sup>
清掃人数	535 人
種類を把握しているごみ量	6 m <sup>3</sup>
種類を把握していないごみ量	1 m <sup>3</sup>
ごみ回収量合計	7 m <sup>3</sup>

□ : 回答が得られなかった都道府県  
 ■ : 回答が得られた都道府県

**中国・四国地方**

**北陸地方**

鳥取	岡山	石川	新潟
未回収	未回収	未回収	未回収
島根	広島	福井	富山
未回収	未回収	未回収	未回収
山口	香川	徳島	
未回収	未回収	未回収	
愛媛			
未回収			
高知			
未回収			

**北海道・東北地方**

青森	北海道
未回収	
秋田	岩手
未回収	未回収
山形	宮城
未回収	未回収

**関東地方**

群馬	栃木	福島
未回収	未回収	未回収

**東海地方**

岐阜	長野	埼玉	東京	茨城	
未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	
三重	愛知	静岡	山梨	神奈川	千葉
未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	未回収

熊本	長崎	佐賀	福岡	兵庫	京都	滋賀
未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	未回収
沖縄	鹿児島	宮崎	大分	大阪	和歌山	奈良
未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	未回収	未回収

**九州地方**

**近畿地方**

注) グラフはごみの種類別回収量の報告があるデータから作成している。  
 グラフが線状になっている場合、ごみの種類別回収量の報告がないことを表す。

図 24 海浜等清掃活動におけるごみの回収状況(湖域)